福生市教育委員会会議録

平成30年第１回定例会

１	開催年月日	平成30年１月19日（金）
２	開始時刻	午前９時00分
３	終了時刻	午前９時45分
４	場所	第二棟４階　第１委員会室
５	出席委員	教育長　川越孝洋
		委員　渡辺浩行
		委員　加藤孝子
		委員　坂本和良
		委員　野口哲也
６	欠席委員	委員　新藤美知子
７	出席者氏名	教育部長　久保淳
		参事兼教育指導課長　井尻郁夫
		教育総務課長　中島雅人
		教育支援課長　野崎昌利
		学校給食課長　村野和彦
		生涯学習推進課長　岡部健一
		スポーツ推進課長　内藤毅誠
		公民館長　佐藤克年
		図書館長　森田雅枝
		特別支援教育担当主幹　千葉かおり
		英語教育推進担当主幹　林宣之
		指導主事　森保亮
		指導主事　鈴木輝
８	傍聴人	２人

午前９時00分　開会

教　育　長　　それでは、定刻でございますので、ただいまから平成30年第１回福生市教育委員会定例会を開会いたします。

おはようございます。よろしくお願いいたします。本日は新藤委員が欠席でございますが、委員の過半数が出席をいたしておりますので、本定例会の定足数は満たしております。

これより本日の会議を開きます。

まず、日程についてお諮りいたします。日程第４、議案第２号、東京都公立学校教育管理職の人事異動の内申についてにつきましては、人事案件のため、福生市教育委員会会議規則第８条の規定に基づき、これを公開しない会議とし、日程第６、その他報告事項の後に審議を行いたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

教　育　長　　異議なしと認めます。

よって、議案第２号は公開しない会議とし、日程第６、その他報告事項の後に審議することといたします。

これより日程に入ります。

日程第１、会議録署名委員の指名を行います。

福生市教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、坂本和良委員、渡辺浩行委員の両名を署名委員として指名いたします。

次に、日程第２、教育長報告を行います。教育長報告を各担当部長より申し上げます。

初めに、教育部長より報告いたします。

教 育 部 長　　おはようございます。

私からは学校教育を除く部分についての報告となります。

まず、市全体でございますが、12月22日、議会の本会議最終日でございまして、内容につきましては後ほど報告をさせていただきます。

年が明けまして、１月８日に消防団出初め式が福生第四小学校の校庭で実施されております。また、20日には文化財消防演習が福生不動尊で実施されることになっております。

次に、教育総務課でございます。１月９日に文京区教育センター視察がございました。教育委員全員の御出席、ありがとうございました。また、東京自治会館で市町村教育委員会連合会理事会研修会が16日に開催されておりまして、加藤委員に御出席いただいております。

次に、生涯学習推進課でございますが、１月８日に成人式が市民会館大ホールで開催されました。教育委員の皆様、御出席ありがとうございました。当日の参加者は、418名となっておりまして、全対象者の723名の57％の出席率ということになっております。

次に、スポーツ推進課でございますが、１月６日に、新春ふっさウォーキングが開催されました。約80名の方に参加していただきまして、中央体育館から防災食育センターまで往復約８キロのウォーキングをしております。

次に、公民館でございます。１月28日に、福生市公民館40周年記念事業が行われます。当日は、式典とシンポジウムということで、シンポジウムには長い間公民館活動に取り組んでいただきましたパネラー５名をお迎えいたしまして、さらなる公民館の発展の方向性について考えてまいります。加藤委員につきましてもパネラーとして御出席いただきます。よろしくお願いいたします。午前10時から市民会館小ホールでの開催となっております。

最後に、図書館でございますが、資料のように、活発におはなし会が各館で実施されているところでございます。

私からは以上でございます。

教　育　長　　続きまして、参事より報告をいたします。

参事兼教育指導課長　　私からは、学校教育に関する所管事務について９点申し上げます。

１点目は、インフルエンザによる学級、学年閉鎖の報告です。インフルエンザの流行が報道等で伝わっておりますけれども、本市においても、今月、罹患児童・生徒が増加してきております。福生第七小学校１年２組が１月16日から18日まで、３日間の閉鎖を行っております。

２点目については、行事、当面の予定でございます。４点ございます。１点目は、福生市立学校書写展ですが、１月24日から１月29日まで例年どおり市役所１階ロビーにて開催します。

２点目、福生市立学校展覧会でございますが、１月26日から同じく28日まで、こちらも例年どおり市民会館展示スペースにて開催します。

３点目、昨年12月に定例教育委員会でも報告いたしましたが、未来を拓くふっさっ子学習発表会が、来週１月27日午後１時から午後４時まで市民会館大ホールにて開催いたします。現在、児童・生徒はそれぞれの発表に向けて準備を行っております。当日は多くの市民の皆様に御参加いただけるよう教育指導課、教育部他課に協力をいただきながら準備を進めており

ます。

４点目、平成29年度東京都教育委員会職員表彰の表彰式が２月２日午後４時から午後５時10分まで都民ホールで開催されます。今年度は、福生第一中学校、松沼英雄教諭が表彰されることになっております。

５点目、第９回中学生東京駅伝大会についてです。お手元に東京駅伝と書かれた東京都教育委員会作成のリーフレットを用意いたしましたのでごらんください。日にちは２月４日、味の素スタジアムを会場としまして、女子は午前10時スタート、男子は午後１時スタートで各地区選抜の中学２年生が地区対抗駅伝大会に臨みます。冊子49ページをごらんください。こちらに、福生選手団の名簿と写真が掲載されておりますので、後ほどじっくりと御確認いただければと思います。今年度は３校、バランスよくチーム編成が行われております。また、さきの都道府県対抗駅伝にも出場しました福生第二中学校、髙山玲渚さんが出場します。いよいよ大会が近づいてまいりました。福生市選手団として当日万全な体制で迎えたいと思っているところでございます。

続きまして、福生市教育研究奨励校、福生第一小学校の研究発表です。研究テーマは「自分の考えをもち、学びあう児童の育成、問いを引き出す仕掛けのある授業づくり」と題しまして、授業公開や研究発表が行われます。その後、日本数学教育学会会長の東京学芸大学名誉教授、客員教授の藤井斉亮先生に「海外から見た日本の教育」という演題で講演を賜ります。

７点目、多摩地区特別支援教育研究会、劇と音楽の会が２月10日午前９時から本市市民会館大ホールにて開催されます。青梅市、武蔵村山市と近隣市において、持ち回りにて開催されておりまして、本年度は会場が本市になりました。本市からは、福生第一中学校８組が出演します。また、開会式では川越教育長の御挨拶がございます。

８点目、福生市学校教育研究会報告会がございます。２月14日午後１時半、市民会館小ホールにて、今年度は小学校特別活動、理科、生活総合、中学校の社会、家庭科、５部会が合同発表を行います。

最後に９点目、福生市立学校コミュニティ・スクール説明会を、２月24日午後２時からもくせい会館にて開催します。今年度は、平成30年度に新たにコミュニティ・スクールとして指定する予定の福生第一小学校、第二小学校、第五小学校の合同説明会でございます。

教育長報告は以上でございます。

教　育　長　　以上、報告は終わりました。

質問がありましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。よろしいですか。それでは、ないようでございますので、教育長報告を終わります。

次に、日程第３、議案第１号、平成29年度福生市教育委員会表彰者の決定についてを議題といたします。教育総務課長より内容の説明をお願いいたします。

教育総務課長　それでは、議案第１号、平成29年度福生市教育委員会表彰者の決定について、提案理由並びに内容について御説明申し上げます。

３ページをお願いいたします。本議案の提案理由でございますが、平成29年度福生市教育委員会表彰の表彰者を決定する必要があるため、本案を提出するものでございます。

この表彰は、福生市教育委員会表彰規程に基づき実施するものでございまして、10月15日発行の教育広報、またホームページ等で周知を行いまして、12月上旬までに推薦をいただき、12月21日に福生市教育委員会表彰審査会を開催し、さらに表彰審査会後に追加の推薦がございましたことから持ち回りでの審査会を開催したところでございます。

審査会では被表彰者として適当であるか審査を行いまして、５ページから10ページの被表彰者候補者名簿の右側に丸印を記載しておりますが、名簿の番号１番から32番まで被表彰者として適当であるとの結果となっております。

表彰候補者推薦件数の合計につきましては、10ページの下段にございますとおり、児童及び生徒の表彰では個人が19件、団体が６件、学校教職員の表彰では個人が１件、個人及び団体の表彰では個人が１件、団体が５件でございまして、合計で個人21件、団体11件の32件となっております。各表彰候補者の詳細につきましては、事前に資料を御配付させていただき、表彰理由の概要を御参照いただいておりますので、説明は省略をさせていただきます。

また、資料11ページ以降には表彰式の案を添付してございます。表彰式の日時は３月10日、午前10時30分開始とし、場所は福生市民会館小ホールを会場といたします。式次第、御来賓、当日のスケジュールは記載のとおりでございます。

御審議を賜りまして、原案のとおり被表彰者につきまして御決定くださいますようお願いいたします。

説明は以上でございます。

教　育　長　　内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。

坂 本 委 員　　中身の話ではなくて、このリストの表記のことなのですけれども、福生高校の定時制の生徒が個人で入っているようですけれども、ここは学年は入らないのですか。８番と10番かな。ほかの個人のところはみんな学年が入っているようです。

教育総務課長　　こちらは掲載が漏れているというところでございます。

以上でございます。

坂 本 委 員　　確認して同じように入れてもらったほうがいいかなと思いました。あと、27番について、これは年齢を入れるのでしょうか。27番は、所属がないのですけれども、これは副団委員長ということで現在も活躍されているのだったら、所属があるのではないかと思うのですけれども、年齢だけ書いてあるのは違和感があります。

教育総務課長　　表彰理由の概要のところにございまして、東京都ガールスカウト191団に所属しているということでございまして、そちらのほうの記載になっております。年齢の表記ですので、追記をしたいと思っております。

以上でございます。

坂 本 委 員　　年齢というのは要るのでしょうか。

教　育　長　　年齢は要らないですね。

坂 本 委 員　　学年だけでいいのではないかと。

教育総務課長　　そうですね。

坂 本 委 員　　はい。これは、この表彰式のときには資料として配付されるわけですか。

教育総務課長　　配付はいたしませんで、実際、私の司会をさせていただくのですけれども、お呼びするときにお名前等を読み上げるような形になっておりまして、資料自体は配付する予定はございません。

以上でございます。

坂 本 委 員　　そうですか。どういう人が表彰されたのかというのを公表するというのはないのですか。

教育総務課長　　公表につきましては、表彰式が終了後に４月15日の教育の広報等に掲載をいたしまして周知する予定でございます。

以上でございます。

坂 本 委 員　　では、そのときにはちゃんと直しておいてください。

教育総務課長　　はい。

坂 本 委 員　　少なくともそろえるようにしていただけると。

教　育　長　　大変申しわけございません。事務局で気づきませんでした。大変失礼い

たしました。そのように整えたいと思っております。

ほかにございますか。今年から表彰式の会場を市民会館小ホールということで、12ページにございますように、このような式場のレイアウトで、こんな形で行うということでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

よろしいですか。ないようでしたら質疑を終わります。

お諮りいたします。議案第１号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

教　育　長　　異議なしと認めます。

よって、議案第１号は原案のとおり可決することといたします。

次に、日程第５、報告第１号、平成29年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果についてを議題といたします。指導主事より内容の説明をお願いいたします。

指導主事（森保）　それでは、日程第５、報告第１号、平成29年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果について報告いたします。Ａ３カラー刷りの報告第１号資料をごらんください。

平成29年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果が昨年11月９日に東京都教育委員会から公表されました。本市における結果について概要をまとめましたので、報告いたします。

本調査は、平成29年７月６日木曜日に都内全公立小・中学校悉皆調査として、小学校第５学年、中学校第２学年を対象に実施いたしました。本調査は、学習指導要領に示されている教科の目標及び内容の実現状況及び読み解く力に関する内容の定着状況を把握し、指導方法の改善に結びつけることにより、児童・生徒一人一人の確かな学力の定着と伸長を図ることを目的としております。各教科の平均正答率につきましては、上段のボックス右側にお示ししたとおりでございます。全体的に東京都の平均正答率を下回っておりますが、昨年度同様、今年度調査においても中学校英語については東京都を上回っております。

本年度調査で明らかになった成果について申し上げます。今申し上げましたように、小学校における平均正答率は東京都の平均正答率に比べると下回っている現状でございますが、「読み解く力」の問題では過去のデータと比べると着実に学力の伸びが見られていることがわかりました。

真ん中、左側のボックスにございますグラフは、文章や図表等から必要

な情報を正確に読み取り、理由を理解、解釈して解決する読み解く力を見る問題の平均正答率について、平成24年度と今年度の調査結果を比較したグラフでございます。全ての教科で平成24年度の結果と比べ、平均正答率が高くなっていることがわかりました。また、教科ごとに分析した結果、成果及び課題が見られたところを報告いたします。

恐れ入ります。２枚目をおめくりいただき、資料の２をごらんください。

本資料は、今年度調査問題の中で成果、課題があった問題を掲載いたしました。左側のボックスをごらんください。まずは、小学校社会において自分の学校がある市町村を選ぶ問題でございます。本問題は、毎年正答率が低く、本市では課題としております問題ですが、今年度は例年より20ポイント程度上昇いたしました。この要因は、各学校が本問題について課題であると認識し、授業において意識的に指導してきたことだと考えているところでございます。ただ、平均正答率は依然として50％を切っている状況でございますので、引き続き学校に対しては指導してまいりたいと思っております。

次に、小学校算数では90度以上180度以下の角について８割を超える児童が正しく認識しているという成果が見られました。そして、中学校では都全体でも５割以上の生徒が間違えた整序問題で、本市では６割以上の生徒が、What color do you like best?と正答いたしました。

以上のことから、部分的ではございますが、授業改善等の取組が着実に成果としてあらわれていることがわかります。

続いて、課題について申し上げます。恐れ入ります、１枚お戻りいただき、資料１をごらんください。

課題の１点目といたしまして、小学校の国語、社会、算数と中学校の数学の４教科は、基礎基本が十分に定着していないと思われる児童・生徒の割合が東京都全体と比べて、本市では比較的多いことがわかりました。資料１は、今年度調査における全教科の正答数分布でございます。今年度調査でも、全教科で教科書の例題レベルの問題を出題しております。その問題数が各教科のグラフで示されております習得目標値のラインでございます。このラインに達していない児童・生徒は教科書の例題レベルの問題を完全に解けていないことになりますが、先ほど申し上げました４教科につきましては、東京都の割合と比べて大きいことがわかりました。

そのほかの課題につきまして、具体的な問題で説明いたします。先ほどの資料２をごらんください。右側のボックスに課題が大きかった問題をお

示しいたしました。課題の２点目といたしましては、小学校算数で多くの児童が式の意味を正しく理解できていないと思われることです。そして、課題の３点目、４点目といたしまして、中学校における基本的な比例式の計算や理科で学習する入射角を正しく理解できていないということがわかりました。これら基本的な知識として授業では押さえる必要がございます。

これらの成果と課題を踏まえ、今後の取組の方向性をお示ししました。１枚目にお戻りください。

下段のボックスにお示しをしておりますとおり、教育指導課といたしまして、４点今後進めてまいりたいと思っております。

１点目は、習得目標値に達していない児童・生徒の割合が10%を超える教科の対応です。この教科については、該当する児童・生徒に既習事項の基礎基本を図る個別支援、指導を継続的に行うことが大切です。東京ベーシックドリル等のドリル学習等を行ってまいります。

２点目は、小学校３年生に対してやるKeyによる家庭学習の可視化を進め、それをもとに授業改善を図ってまいりたいと考えております。

３点目は、放課後学習教室等により個に応じた指導の充実を図る機会を意図的に行うように学校に指導してまいりたいと思います。

最後４点目は、本調査の読み解く力や全国学力・学習状況調査のＢ問題を解けるような力を身につけさせるために言語活動を計画的に行い、指導していくことが重要であると考えており、教員が管理職に毎週提出する週ごとの指導計画に明記させ、既習事項の活用を図る授業改善を進めてまいりたいと思います。

以上で報告とさせていただきます。

教　育　長　　内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。いかがでございましょうか。

坂 本 委 員　　今後の取組が非常に重要だと思いますけれども、その中で２つ目に書いてある家庭学習の可視化による授業改善というのがちょっとわかりにくいので、具体的にどういうことを学校の先生方にやっていただくのか説明してもらえるでしょうか。

指導主事（森保）　　本市は、昨年９月に全小学校３年生にタブレットを貸与してやるKeyによる家庭学習を開始しました。実際には、学校において算数で習ったところを教員がデジタルデータで児童のタブレットに配布し、家庭学習によってそこの定着を図ります。教員が手元のタブレットで、できている児童がどれぐらいいて、できていない児童がどれぐらいいるのか。また、時間が

どれぐらいかかっているかということが、教員のタブレットでデータとして見ることが可能です。そのデータを生かして、その次の授業で多くの児童ができていなかった問題、時間がかかった問題等について、最初の導入の振り返り、もしくは立ち戻る指導を導入することにより家庭学習の可視化により授業の改善を進めると発表させていただきました。

以上でございます。

教　育　長　少し補足しますと、本年度本格実施ということで当初予算に組んでやっておりますが、それ以前に過去３年間にわたり産学官で研究を進めてまいったものでございまして、３年間については研究して学校を絞ってやっていたんです。それを全校展開するという形で、その研究機関の成果を得られた部分を広げていこうということでございまして、このやるKeyについて、以前から取り組んでおりますもう一つのソフトがありまして、ｅライブラリアドバンスとあわせて家庭学習用に、あるいは個別の学習用に開発をしておるソフトを用いて小学校４年生までの基礎学力の定着を確実にしていこうという取組をさらに評価するということでございます。

坂 本 委 員　家庭学習の可視化というとわかりにくいけれども、要は家庭学習というものを家庭に任せっ放しにしないで、その成果を生かして授業に組み立てるという、単純に言えばそういうことですね。

指導主事（森保）　ありがとうございます。おっしゃるとおりでございます。

教　育　長　そのようなことでございます。ほかにございますか。

かなり成果を上げている部分も多くなってまいりまして、教員の授業改善も進んでいる状況でございますけれども、やっぱり学校間においても、ちょっと差があるかなというところが見受けられますので、そういったところを濃淡つけながら指導を図ってまいりたいと思っているところでございます。よろしいでしょうか。

それでは、ないようですので質疑を終わります。

お諮りいたします。報告第１号は報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

教　育　長　異議なしと認めます。

よって、報告第１号は報告のとおり承認することといたします。

次に、その他報告事項についてを議題といたします。平成29年度第４回福生市市議会定例会の報告について、久保部長より申し上げます。

教 育 部 長　　それでは、平成29年第４回定例会の報告をさせていただきます。資料のほうをごらんください。こちらの会議につきましては、12月５日から22日まで18日間の会期で行われました。

主な議案でございますが、教育委員会に関する条例改正等はございませんでした。また、一般会計補正予算ではふっさっ子グローバルヴィレッジ実施委託の債務負担行為の増額変更と福生市営プール指定管理の債務負担行為の追加でございます。ふっさっ子グローバルヴィレッジは、平成29年度の実施を踏まえまして宿泊場所の見直し及び事前講習の実施などによる増額、福生市営プール指定管理の債務負担行為の追加は、平成30年４月１日から新たに指定管理者との契約締結を行うための追加でございました。いずれも可決されております。そのほか、福生市営プール指定管理者の指定については、現在の指定管理者でございますが、有限会社ブイフィールドに平成30年４月１日から平成35年３月31日までの５年間、引き続き指定したいというものでございまして、同意となっております。

一般質問につきましては、15名の議員からございましたが、そのうち教育に関する質問につきましては９名となっております。以下、質問要旨、答弁要旨につきましては、議員別に記載しておりますので、後ほどお目通しいただければと思います。

以上でございます。

教　育　長　　この件につきましては何かございますか。よろしいですか。

事務局からのその他報告は以上でございますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、ないようでございますので、その他報告事項の説明を終わります。

ここで先ほど日程についてお諮りいたしました日程第４、議案第２号、東京都公立学校教育管理職の人事異動の内申についてを公開しない会議といたしましたので、これからは公開しない会議となります。傍聴の方々、そしてまた関係者以外の方々、大変申しわけございませんが、御退席をお願い申し上げたいと存じます。

暫時休憩いたします。